



新しいブランコに乗ってご機嫌な子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、御協力、心から感謝致します。

皆さまも既に御存知のことと思いますが、東京を感染の中心とした「デング熱」が、日本各地で発生しております。時々ではありますが、カンボジア孤児院の子どもたちの間でも、感染の報告がある病ですが、日本で発生するとは、と驚いております。ただ、カンボジアを初め、私共孤児院の子どもたちに関しては、皆さまの御支援により、医療機関の治療を受けさせることができますので、皆、短期間で快方へ向かうことができます。また、デング熱以外の病気に関しても、同様のケアをすることができております。元気な姿でいる時以上に、病気の時ほど、皆さまの御支援をありがたく思う時はございません。また、病気を経過しているからこそ、普段の日常がいかに幸いであるのか痛感致します。そして、その日常を支える皆さまの御協力、サポートには本当に感謝しております。

皆さまの御力は、子供たちのいのちを支えております。

どうかこれからも、是非御支援、サポートをよろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

## ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為、皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。以前ボランティアで働いて下さった平良さんが8月中旬頃訪問して下さい、久しぶりの再会を喜び合いました。子どもたちやスタッフ達も、昔話に花が咲く楽しいひとときでした。

学校によって休みの長さが違いますので、数人の子どもたちは9月からすでに授業を受けていますが、それ以外の子どもたちは10月から新学期になります。新しい学年を迎えるにあたり、身長が伸び体重も増えていますので制服のチェックや、通学用のバックや靴、筆箱など、1人ずつチェックして準備しています。今年から、12年生を終了する最後の統一試験が大変難しくなったようで、合格率が

25%という結果だったと聞きました。新学期から12年生になる4人の子ども達の為に、来年の終了試験に向けてさらによい準備が出来るように支援を強めて行けるようにと願っています。

また新学期（10月）からの授業料値上げに関しまして、子ども達が継続して学んで行く事が出来ますよう、授業料の必要のためにさらにご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



お庭で元気に遊ぶ子どもたち！

## フィリピン孤児院レポート

## エディー・エミア

礎の石フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。学校が始まって、もう約4か月が経ちました。子どもたちは喜んで学校へ通い、一生懸命勉強しています。9月はスポーツの月で、運動会が行われます。マハヤハイのキンバリー・クインボ（女の子）は50メートル走の代表に選ばれ、見事優勝しました。他の女の子たちはバドミントンやバレーボール、男の子たちはバスケットボールの試合に参加しました。9月24日～26日には「数学と科学フェア」が行われ、またクイズ大会や討論会などが行われます。9月18日から今学期二回目のテストが行われる予定です。



ハンモックで遊ぶ子どもたち！

## ザンビア孤児院レポート

## シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

今月号から、ザンビアのもう一つの言語、ベンバ語でご挨拶させていただいています。ザンビアは今どんどん気温が上がって、夏に突入しようとしています、それでも寒い時期がいつになく長く続きました。



現在のところ、エボラ出血熱がザンビアに侵入したという情報はなく、いたって平和な日々です。新学期も始まり、子どもたちも元気に学校に通っています。最近は、「子どもたち」と呼ぶのがはばかれるほど、立派に成長しています。

思春期に入った子どもたちと、親として誰もがチャレンジに直面する毎日。それでも、今までできなかったことを自然にこなしていつているその成長ぶりに、喜びもひとしおです。

同時に、中学卒業後、高校卒業後の将来の進路に関して、日本に留学することも選択肢として考えています。それぞれが、具体的に将来の夢を語れるようになってきました。

**学校に行けることを喜んでいる  
フィデリス！**

## ブラジル孤児院レポート

## 松本 弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。引き続き、グアラパスには、一週間に一度のペースで孤児院の土地を見に行っています。先日は、



久しぶりに隣の牧場のオーナーさんご夫妻を訪問しました。とてもきさくなお二人で、お昼御飯をごちそうしてくださいました。M君に日本語を教えるために一週間に一度くらい行っています。M君のおばあちゃんは、実は小さい頃に日本語を習ったことがあるそうで、一緒に学んでいます。M君はこの頃は英語にも関心を持っています。さらにご支援をどうぞよろしく願いいたします。

**一生懸命勉強をしているMくん！**

# ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

### 【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 児童養護施設（孤児院）設立支援のため

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

### 【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

## 「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：[ishizue@athena.ocn.ne.jp](mailto:ishizue@athena.ocn.ne.jp)

<http://www.cornerstone.or.jp/>